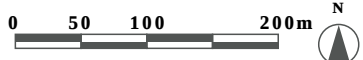
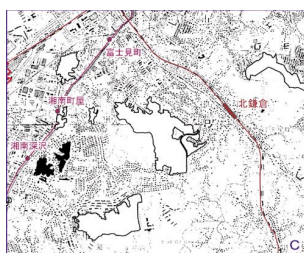


左： 等覚寺
右： 寺分一丁目

- A 常緑広葉樹自然林
- C 溪谷生落葉樹自然林
- G 落葉広葉樹二次林
- I 林縁生低木-ツル植物
- J2 畑耕作地
- L1 竹林
- L2 針葉樹植林
- L3 果樹園
- L4 緑化地
- M 人工地



コクワガタ



クヌギ林

かつて、薪や炭を得るために苗木を植えた林です。林床にはアズマネザサが茂り、日陰に強い植物と一緒に生育しています。



クロジ



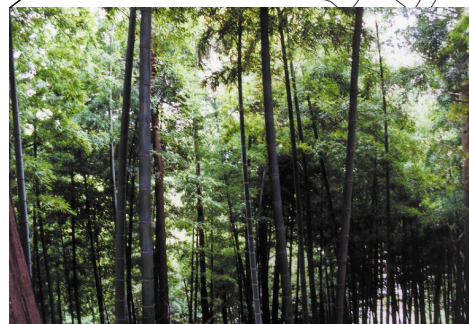
カワラヒワ

等覚寺



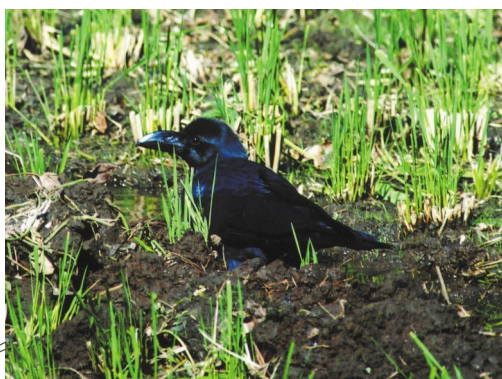
ムクノキ-エノキ群集

畑の跡地に生育したムクノキ・エノキ二次林で、高さは15mぐらいです。林床にはアズマネザサが茂っています。



竹林

手入れが行き届いて林内が明るいモウソウチク林で、林床にはツル植物を始め、45種類もの植物が生育しています。



ハシトガラス



カナヘビ



寺分一丁目



ツクツクボウシ



ムクノキ-エノキ群集

エノキ、ネムノキ、イヌシデなど多くの種類の木が混ざっている二次林です。

等覚寺

調査確認種数

植物：76科157種

動物

哺乳類：1科1種

鳥類：16科20種

爬虫類：トカゲ 1科1種

昆虫類：46科98種

寺分一丁目

調査確認種数

植物：60科119種

動物

哺乳類：モグラ他 2科2種

鳥類：14科17種

爬虫類：ヤモリ、トカゲ、カナヘビ 3科3種

昆虫類：43科93種

特記事項

等覚寺、寺分一丁目は、丘陵部分が島状に残された小面積の樹林地で、水系は存在せず、確認種も少ない状況です。

住宅地を挟んで隣接する両者を、一体として考え、効果的な保全を行う必要があります。



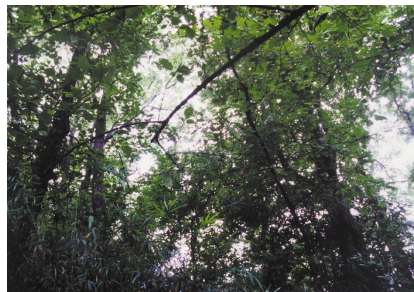
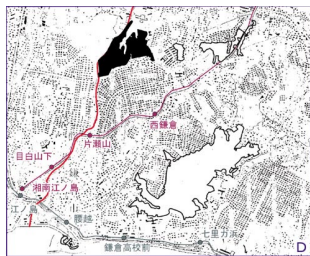
ヤコブウジ-スダジイ群集

アカガシの多いスダジイ林で鎌倉市ではめずらしい林です。林床にはアズマネザサやヌルデ、その他常緑広葉樹が生育しています。最近まで人手が入っていたようです。

手広

- A 常緑広葉樹自然林
- C 溪谷生落葉樹自然林
- E 常緑・落葉広葉樹混生二次林
- G 落葉広葉樹二次林
- I 林縁生低木・ツル植物
- J1 乾性草地
- J2 畑耕作地
- K 湿性草地
- L1 竹林
- L2 針葉樹植林
- L3 果樹園
- L4 緑化地
- M 人工地
- N 開放水面（池）

- 湿地（12月時点の拡がり）
- 井戸 ▲ 湧水
- 〰 水路
- 〰 水路（一部コンクリート護岸）



オニシバリ-コナラ群集
高さ23mにもなったコナラ林です。
林床にはアズマネザサが密集して植物の種類は少ないです。



トノサマバツタ

手広



トカゲ



アオジ



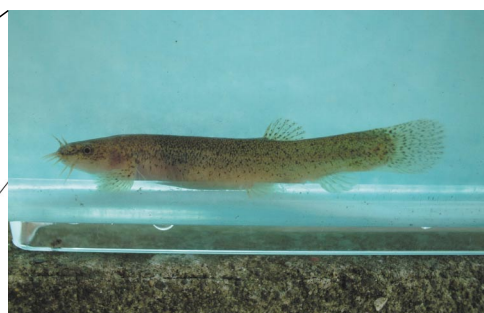
タヌキの足跡

タヌキ
手前に見えるもの（白円内）
はタヌキの糞です。



竹林
食用として、また竹材を取るために植えられたマダケ林
です。林の中は暗く、アオキやシダ類が散生しています。

ヘイケボタルの分布です。
ゲンジボタルの餌となる
カワニナ(貝類)がない
ためか、ゲンジボタルは確
認できませんでした。



ホトケドジョウ



モノサシトンボ



猛禽類の食痕

キジバトの羽が散乱しています。手広は企業の敷地内で、一般の立ち入りができず、静かな環境であるため、猛禽類が餌場になっていると考えられます。



ため池

下流側はコンクリート護岸となっています。道に近く容易に近づけます。



ため池で確認されたオオクチバス(左)とギンブナ(右)です。オオクチバスは肉食性の外来種で、在来種に与える影響が懸念されるため、早急な対策が必要です。



ため池上流部のヨシ群落

岸辺から水深30cm位までにはえているヨシ原です。



ミソソバ群落

水田の跡地に繁茂したミソソバです。

手広

調査確認種数

植物：75科179種

動物

哺乳類：モグラ、アカネズミ、タヌキ他 5科5種

鳥類：フクロウ他 22科36種

爬虫類：トカゲ、カナヘビ、シマヘビ 3科3種

両生類：3科5種

昆虫類：130科485種

魚類：3科4種

底生動物：21科24種

特記事項

手広は企業の敷地内であり、一般の立ち入りが制限されているため、動物にとって静かで好適な環境が保たれています。

また、藤沢市との境界に位置し、藤沢市側に川名緑地、新林公園と緑地が広がっており、比較的良好な環境が維持されているものと思われます。

藤沢市側の緑地と一体として扱い、一般の立ち入りを制限して保全することが、より効果的であると考えられます。